



大田  
大田まつり  
大宮神社  
東海市大田町上浜田 138

**荒古組山車** (荒古組)  
あらこぐみだし

建造時期：天明2年頃。彫刻は瀬川治助重定、瀬川重光の作。からくり人形は蓮台上の唐子の大木偶が囃子に合わせて逆立ちし、鉦を叩く。蓮台の横の唐子の小木偶(2体)は、これに合わせて蓮台を回す。



横須賀  
尾張横須賀まつり  
愛宕神社  
東海市横須賀町四ノ割 23-1

**大門組山車** (大門組)  
だいもんぐみだし

建造時期：天明年間。寛政年間以降に当地に持ち込まれたと推定。彫刻は瀬川治助重定の作。からくり人形「三番叟」。扇と神楽鈴を持って舞っているが囃子が変わる一瞬で木偶が社殿に変化する。



横須賀  
尾張横須賀まつり  
愛宕神社  
東海市横須賀町四ノ割 23-1

**北町組山車** (北町組)  
きたまちぐみだし

建造時期：文政10年。彫刻「老松」(壇箱)、「毬・唐獅子」(板支輪)は瀬川治助重定の作。からくり人形は祭囃子に合せて大木偶が蓮台を廻すと台上の小木偶が楓の木上に飛び乗り、太鼓を叩いたり、逆立ちして鉦を叩く。



横須賀  
尾張横須賀まつり  
愛宕神社  
東海市横須賀町四ノ割 23-1

**本町組山車** (本町組)  
ほんまちぐみだし

建造時期：天保13年。彫刻は瀬川治助重定、重光の作からくり人形は小木偶が大甕に登って遊んでいると、誤って甕の中に落ちる。これを大木偶が軍配で甕を割り、子木偶を助け出す。中国北宋時代の故事に基づく。



横須賀  
尾張横須賀まつり  
愛宕神社  
東海市横須賀町四ノ割 23-1

**圓通山車** (公通組)  
えんつうだし

建造時期：寛政年間。文化2年に当地に持ち込まれたと推定。別称「圓通車」。からくり人形は小唐子が差し出す矢を大唐子が弓につがえて放つと的に当たり、中から5寸ほどの唐子が飛び出てくる。



横須賀  
尾張横須賀まつり  
愛宕神社  
東海市横須賀町四ノ割 23-1

**八公山車** (公通組)  
はちこうだし

建造時期：寛政年間。文化2年に当地に持ち込まれたと推定される。別称「八公車」。からくり人形は小唐子が大唐子の肩に片手で止まり、大唐子の持つ太鼓をもう一方の手に持ったばちで祭囃子に合わせて叩く。

**大府市**

山車まつり情報

藤井神社(横根地区)では、毎年10月第2日曜日の「藤井神社祭礼」に横根村内の3組からそれぞれの山車(石丸車、中車、南車)が曳き込まれます。山車前に舞台を設置し、子どもによる三番叟が神前で奉納されます。三番叟は能を起源とした吉例の舞として庶民の間に受け継がれてきた郷土芸能です。山之神社(北崎地区。旧北尾村)では、毎年10月第2日曜日の「山之神社祭礼」に山車が曳き出されます。現在は旧北尾村の村境まで曳き出されます。明治末期までは同日開催の「藤井神社祭礼」(横根地区)にも曳き出されていました。



横根  
横根藤井神社祭礼  
藤井神社  
大府市横根町惣作 20

**中車** (中組)  
なかしや

建造時期：安政6年(瀬川重光)。彫刻「牡丹」(持送り)、上下に分かれた2段式の壇箱には「力神像」。台輪先端に特色ある木鼻。黒漆塗りで、金箔が多い。山車の前に設置された舞台上で、子供たちによる「三番叟」が奉納される。



横根  
横根藤井神社祭礼  
藤井神社  
大府市横根町惣作 20

**石丸車** (石丸組)  
いしまるしや

建造時期：江戸時代後期。彫刻「唐草」(持送り)。上山の天井には竜や孔雀の絵。山車の前に設置された舞台上で、子供たちによる「三番叟」が奉納される。



横根  
横根藤井神社祭礼  
藤井神社  
大府市横根町惣作 20

**南車** (南組)  
みなみしや

建造時期：江戸時代後期。彫刻「波」(持送り)等。上山の天井には竜や孔雀の絵。台輪先端に特色ある木鼻。黒漆塗りで、金箔が多い。山車の前に設置された舞台上で、子供たちによる「三番叟」が奉納される。



北崎  
山之神社祭礼  
山之神社  
大府市北崎町北屋敷 147

**山之神社祭礼山車**(北尾)  
やまのかみしゃさいれいだし

建造時期：江戸時代後期。格納の箱書によると寛政12年と推定。彫刻「波に千鳥」(持送り)。上山の天井は金箔格子。台輪先端に特色ある木鼻。黒漆塗りで、金箔が多い。

## 知多市

### 山車まつり情報

岡田の春まつりは3台の知多市指定文化財の山車が揃う賑やかな祭りです。登録有形文化財建造物を含む古い街並みでの曳き廻しや、3台揃っての捻廻しと木偶の上演が見どころです。北粕谷の八社神社祭礼では、知多市指定文化財山車「北粕谷山車(花王車)」の修復を進め、平成25年(2013年)に56年ぶりに街中曳き廻しが再開されるなど、近年山車まつりが復活しました。知多市では、各地区で山車まつりを含め特色のある祭りが行われています。是非お楽しみください。



岡田  
岡田春まつり  
神明社等  
知多市岡田字中谷 35

**里組山車**(岡田里組)  
さとくみだし

建造時期：文久3年。別称「日車」。彫刻「鳥・松」(屋根)、「鳳凰と狛犬」(上山)、「龍・虎・仙人」(前棚)等。上山でからくり人形5体による「悪源太平治合戦」が演じられる。



岡田  
岡田春まつり  
神明社等  
知多市岡田字中谷 35

**中組山車**(岡田二区中組)  
なかぐみだし

建造時期：天保10年。別称「雨車」。彫刻「龍」(屋根)、「鬼と狛犬」(前棚)水引幕は龍の刺繍。他の山車に比べ形は大きく重い。ため、梶人が16名必要。



岡田  
岡田春まつり  
神明社等  
知多市岡田字中谷 35

**奥組山車**(奥組村方)  
おくぐみだし

建造時期：文久元年。別称「風車」。彫刻「鶴と松」(屋根)、「七福神」(前棚)、水引幕は龍の刺繍、追幕に牛若丸と天狗の刺繍。上山で唐人(幸福人形)が字を書くからくり人形を搭載。同まつりの他山車よりも古い形式を伝える。



北粕谷  
八社神社祭礼  
八社神社  
知多市金沢字郷中 33-1

**北粕谷山車**(北粕谷)  
きたがすやだし

建造時期：文化年間。半田亀崎西組で建造。のち弘化5年に半田板山大湯組へ譲渡。昭和2年に当区が購入。別称「花王車」。総螺鈿づくり。彫刻「巻龍」(四本柱。早瀬長兵衛吉政)「近江八景」(増箱)等が造押し・彩色されている。

## 阿久比町

### 山車まつり情報

阿久比町には、町指定有形民俗文化財の山車が横松地区、萩地区、大古根地区にそれぞれ1台、宮津地区に2台、全部で5台あります。また、子ども山車や個人所有のものなど小型の山車が3台あります。毎年4月になるとこの地区の神事では狭い路地や急な坂を下ろしたりする勇壮な山車の曳き回しと可愛い子ども囃子や華麗な三番叟を奉納し、その年の五穀豊穡を祈る春まつりが行われます。夜には宵宮と言われ山車に提灯が灯され幻想的な光景が広がり、地区によっては花火が打ち上げられ、雰囲気盛り上がり。ぜひ阿久比の春の山車まつりにお越しください。



横松  
横松神明社例祭  
神明社  
知多郡阿久比町大字横松字西之海道65

**横社山車**(横松)  
よこしゃやまぐるま

建造時期：不明。明治初めから巡行していたが、伊勢湾台風で被害を受け、巡行は中断。平成4年復活。彫刻「七福神」(増箱)、「日本武尊・須佐之男命」(脇障子)、「亀群」(蹴込み)(初代彫彫)。からくり人形「三番叟」(前壇)を搭載。



萩  
**大山祇神社例大祭**  
 大山祇神社  
 知多郡阿久比町大字萩字白山西8

**大山車**(萩)  
 おおやまぐるま

建造時期：明治44年。彫刻「松に天狗」(上山懸魚)、「龍」(前山懸魚)、「牛若丸と弁慶」(脇障子)、「水滸伝花鳥」(壇箱)、「雪中の犬」(蹴込み) (彫常一門)。「牡丹」(持送り)：天保15年)は旧車からの転用。



宮津(北)  
**熱田社例大祭**  
 宮津熱田社  
 知多郡阿久比町大字宮津字宮本29

**宮津北組山車**(宮津北組)  
 みやづきたぐみだし

建造時期：不明。彫刻の銘から安政7年頃と推定。彫刻「加藤清正朝鮮の役」(壇箱)、「源頼政碓氷退治」(脇障子) (瀬川治助重光)、「乱獅子」(蹴込み) (岩田新之助)。からくり人形「三番叟」(「恵比寿・大黒・唐子」)を搭載。



宮津(南)  
**熱田社例大祭**  
 宮津熱田社  
 知多郡阿久比町大字宮津字宮本29

**宮津南社山車**(宮津南組)  
 みやづなんしゃだし

建造時期：宝暦元年以前。彫刻「大江山鬼退治」(壇箱)、「須佐之男命」(脇障子) (増井時三郎)。水引は金糸の龍。からくり人形「三番叟」(「牛若丸・弁慶・京人形」(現在、行われていない)を搭載。



大古根  
**大古根八幡社例大祭**  
 八幡社  
 知多郡阿久比町大字植大字柿崎11

**大古根八幡社山車**(大古根)  
 だいこねはちまんしゃだし

建造時期：不明。彫刻の銘から弘化・嘉永の頃と推定。彫刻「力神」(壇箱)、「松に鳩」(臺股) (岸幕角三郎)、「牛若丸と烏天狗」(壇箱) (瀬川治助)、「波に千鳥」(持送り) (彫常)。からくり人形「三番叟」を搭載。



棕岡  
**棕岡八幡神社例大祭**  
 八幡神社  
 知多郡阿久比町大字棕岡字南畑6

**棕岡山車**(棕岡)  
 むくおかだし

建造時期：平成2年10月。棕岡八幡神社の老朽化と隣接する都市計画道路の拡幅工事に伴い、社殿やその他の施設を移転、新築することになった。その御遷宮を記念し、地元の大工により山車を建造した。



矢口  
**矢口箭比神社例大祭**  
 箭比神社  
 知多郡阿久比町大字矢高字石根37

**矢口子ども山車**(矢口)  
 やぐちこどもだし

建造時期：昭和58年。子ども山車。もともとは樽神輿であったが、上の樽部分が屋形に変えられて現在の山車となった。製作全般にわたって区民の手造りによる山車はあまり例を見ない。



町内外問わず祭礼始め各イベントに参加

**敏車**  
 としぐるま

建造時期：平成23年4月17日。水野敏廣氏(横松)の自作。本業の傍ら近隣市町の山車を修復していた水野氏が台輪を譲り受けたのをきっかけに作り始めました。この山車名は、水野氏の名前にちなんで名付けられた。

**南知多町**  
**山車まつり情報**  
 「内海の春まつり」では、五穀豊穰、村中安全を願い、吹越、岡部、馬場、東端の4区でそれぞれ1台の山車が巡行します。「大井の夏祭り」では、年に1度村社の豊受神社の神が区域内にある津島神社の神のもとへ向かう際の警護として山車1台が巡行します。秋の「羽豆神社の大名行列」では、岬にある羽豆神社の神が住民の居住区内に設けられた「御旅所」に渡られる際の警護として山車5台が巡行します。「西村区祭礼」では山車1台が巡行します(ただし、曳き廻しは3年に1度です)。このほかには、豊浜の半月地区で昭和40年代まで曳かれた船山車が郷土資料館で展示されています。



東端  
**東端区祭礼**  
 高宮神社等  
 知多郡南知多町大字内海字高平井26等

**東端区山車**(東端)  
 ひがしばたくだし

建造時期：江戸時代後期と推定(嘉四郎作)。彫刻「唐獅子」(前山臺股、脇障子)、「龍」(前山懸魚)、「波」(段箱)。古式知多型の要素がありながらも外輪式で輪掛けがある。からくり人形「神官と神子による湯取り神事」を搭載。



吹越  
**吹越区祭礼**  
秋葉神社  
知多郡南知多町大字内海宇東坐頭畑10

**吹越区山車**(吹越)  
ふっこしだし

建造時期：天保年間以前と推定。彫刻「唐獅子」(壇箱)、「龍」(太平鐸)。全体に彫刻が少ない。南知多町大井から譲り受けたもの。からくり人形「柄太鼓を叩く大唐子とその肩の上で倒立する小唐子」を搭載。



岡部  
**岡部区祭礼**  
神明社  
南知多町大字内海宇西御所奥18

**岡部区山車**(岡部)  
おかべくだし

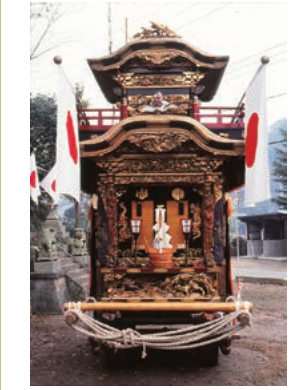
建造時期：嘉永年間。彫刻「海棠」、「鶏」、「力神」(段箱)、「鯉の滝登り」(脇障子)、「虎」(蹴込み)、「鳳凰」(前山懸魚)等。からくり人形「蓮台を回す大唐子と蓮台の上から梅の木に飛び移り倒立する小唐子」を搭載。



馬場・北脇・中之郷  
**三郷祭り**  
入見神社  
知多郡南知多町大字内海宇中ノ郷22

**蛇車**(馬場)  
じゃぐるま

建造時期：江戸末期。彫刻下絵から推定。彫刻「龍」(前山懸魚)、「雅楽器」(前山太平鐸)。からくり人形「蛇(じゃ)おどり」(上山)、「柄太鼓を叩く唐子、文字書き唐子」(現在行われていない)。上山に道成寺を模した梵鐘形置物。



西村  
**西村区祭礼**  
八幡社  
知多郡南知多町大字山海宇長坂70

**西村区山車**(西村)  
にむらくだし

建造時期：嘉永7年頃。幕収納箱の墨書から推定。岡崎市矢作町上之切から大正4年に譲渡された。彫刻「手長足長」(前壇前柱)、「力神」(壇箱)、「鯉の滝登り」(脇障子)、「鳳凰」(前山懸魚)、「鶴兼仙人」(前山鬼板)等。



大井  
**大井の夏祭り**  
津島神社・豊受神社  
知多郡南知多町大字大井字北側42

**聖車**(大井)  
ひじりしゃ

建造時期：天保9年。彫刻：「龍」(脇障子)等、各所に彩色された彫刻があるが、題材は不明。阿久比町萩で製作された山車で、半田市平井組、下半田東組を経て大正年間に大井に譲渡された。全体に漆塗りや金箔が施されている。



師崎  
**羽豆神社の大名行列**  
羽豆神社  
知多郡南知多町大字師崎字明神山1

**新井山車**(師崎荒井)  
あらいだし

建造時期：昭和始め頃。彫刻「力神」(壇箱)、「龍虎」(脇障子)。いずれも二代彫師新美茂登司作。



師崎  
**羽豆神社の大名行列**  
羽豆神社  
知多郡南知多町大字師崎字明神山1

**栄村山車**(師崎栄村)  
さかえむらだし

建造時期：不明。彫刻の作風から文化10年頃と推定。半田亀崎から旧山車を買入れたという伝承があるが、亀崎の山車に比べ小型であるので、部分的に譲り受けたものと思われる。彫刻「龍」(堂山上部)、「竹に虎」(脇障子)等。



師崎  
**羽豆神社の大名行列**  
羽豆神社  
知多郡南知多町大字師崎字明神山1

**鳥東山車**(師崎鳥東)  
とりひがしだし

建造時期：不明。「山車新造寄付帳」等から明治30年代初頃と推定される。彫刻「日本武尊」(脇障子)、「鶴」(懸魚)等。



師崎  
**羽豆神社の大名行列**  
羽豆神社  
知多郡南知多町大字師崎字明神山1

**鳥西山車**(師崎鳥西)  
とりにしだし

建造時期：不明。彫刻「力神」、「七福神」(壇箱)、「鳳凰」(前山懸魚)、「武内宿禰・神功皇后」(脇障子)等。



師崎  
**羽豆神社の大名行列**  
羽豆神社  
知多郡南知多町大字師崎字明神山1

**的場山車**(師崎的場)  
まとぼだし

建造時期：不明。構造は知多型山車だが、江戸時代中期頃の要素もある。様々な時代の部材を使用し現在の形に至ると思われる。彫刻「力神」、「波に千鳥」(壇箱)、「烏天狗」(前山懸魚)、「菅原道真と小野道風」(脇障子)等。



内福寺  
内福寺区祭礼

不明  
不明

内福寺区山車(内福寺)

うつつくじくだし

建造時期：万延元年頃。彫刻「獅子に手鞠・力神」(壇箱)、「武内宿弥」(脇障子)、「鶴」(前山懸魚)、「龍」(前山畳股)等。からくり人形「チャッパを叩く唐子、石橋獅子唐子」(現在行われていない)。現在、巡行していない。



不明  
津島神社祭礼

不明  
不明

お船

おふね

建造時期：明治7年。もとは中須村の中洲神社祭礼で巡行。その後、須佐村に譲渡され、昭和47年頃まで祭礼で巡行。彫刻「獅子頭」、「亀」、「鱧」等。弁財船又は御座船を模したと伝わる。現在、巡行していない。

美浜町

山車まつり情報

美浜町では春の祭礼に山車の曳き廻しを行う地区が6地区あり、それぞれ特色のある11台の山車が地区内を曳き廻されます。その中でも最も古い山車が河和中組の「汐吹車」です。宝暦5年(1755年)の作と言われ、全体を黒漆と金箔、極彩色で仕上げられており、「仏壇車」とも言われております。また、その逆に最も新しい山車は野間の「赤龍車」です。まちの活性化や地域の繋がりを深めることを目的に平成24年(2012年)に地元企業と地域の方のご厚意により、若者達の手によって作られました。囃子と合わせて春の神武祭でお楽しみ頂けます。



布土  
布土祭

神明神社等

知多郡美浜町大字布土字平井39等

山王車(大池組)

さんのうしや

建造時期：不明。昭和22年、青年団から建造意欲が高まり、総代等が古山車を探し回り、半田中塾酢店倉庫に大屋根と前檣のあることをつきとめ、所有者の山車工匠石堂武雄氏より購入。石堂氏の指導のもと再興。「三番叟」を搭載。



布土  
布土祭

神明神社等

知多郡美浜町大字布土字平井39等

護王車(上村組)

ごおうしや

建造時期：嘉永2年(前野小兵衛治)。明治14年3月、下半田南組から譲り受けた。彫刻「護王の夢物語」(前壇)、「力神」(持送り)、「猿の木遊び」(脇障子)等。立川和四郎富重作。からくり人形「恵比寿、大黒」を搭載。



布土  
布土祭

神明神社等

知多郡美浜町大字布土字平井39等

天王車(平田組)

てんのうしや

建造時期：18世紀頃。明治初期に常滑市大谷奥条から購入。神明造りの山車。6本柱で一部障子が無い。彫刻「安珍・清姫伝説の釣鐘と蛇」(前壇)。山車全体としては彫刻が少なく、木部はすべて漆塗り仕上げ。



河和  
河和祭

天神社

知多郡美浜町大字河和字北屋敷83

力神車(河和北組)

りきじんしや

建造時期：昭和11年(石道喜一)。堂山の幅員寸法が大きく、かつ堂山・上山共に面積では、知多半島の中で最大規模。彫刻「力神像」は彫常作。からくり人形「唐子人形」を搭載。



河和  
河和祭

天神社

知多郡美浜町大字河和字北屋敷83

汐吹車(河和中組)

しおふきしや

建造時期：宝暦5年(岸幕善兵衛)。明治36年に半田乙川南組の山車を購入。堂山上部高欄を支える持送りや上山のせり上げ方式等古い形態を残す。山車名は貝が潮を吹く壇箱彫刻による。漆の黒と金箔の彩で「仏壇車」と呼ばれる。



上野間  
上野間祭

野間神社

知多郡美浜町大字上野間字高川16

上野間 四嶋の山車(上野間)

かみのま よしまのだし

建造時期：文久年間。彫刻「波上に竜」「力神」。越智嶋の山車と同様、上山の上げ下げ機構が独特であること等、からくり人形上演のための工夫。からくり人形「楓狩妹背御鏡 山賊退治之段」(3体)を搭載。



上野間  
上野間祭

野間神社

知多郡美浜町大字上野間字高川16

上野間 越智嶋の山車(上野間)

かみのま おちしまのだし

建造時期：安政6年。彫刻「粟穂に鶺鴒」(段箱)、「鍾馗の鬼退治」、「力神」、「三国志」(脇障子)、「獅子に手鞠」(蹴込み)。諏訪立川流一門作。からくり人形「田村川神亀釣竿 源義経日之出車 源氏烏帽子之段」を搭載。



奥田南  
大己貴神社大祭  
大己貴神社等  
知多郡美浜町大字奥田等

**奥田南 南車** (奥田南)

おくだみなみ みなみぐるま

建造時期：平成17年。有志によって建造。その後、平成18年に当地出身で当時東し株式会社社長の榊原定征氏が大幕を寄贈。年々地元区民の寄付・努力により、手直しと改良がなされていった。



奥田北中  
大己貴神社・八幡社大祭  
大己貴神社等  
知多郡美浜町大字奥田等

**奥田北中 龍神車** (奥田北中)

おくだきたなか りゅうじんしゃ

建造時期：平成16年。有志によって建造。平成24年に半田市乙川地区浅井山よりゴマを、半田市下半田地区東組より台輪を譲り受け、現在の形となった。



野間  
神武祭  
神明神社等  
知多郡美浜町大字野間字等

**赤龍車** (野間)

せきりゅうしゃ

建造時期：平成23年。地域活性化を図るため、野間学区青年団が主体となり建造開始。現在も制作は続いている。水引はしめ縄、大幕は無地。今後、彫刻等の装飾を加えていく。



北方  
北方区祭礼  
十二神社  
知多郡美浜町大字北方字東側43

**北神車** (北方)

きたかみしゃ

建造時期：平成20年。地元有志が建造。踏切を横断する関係から小型に作られている。



小野浦  
秋祭り  
八幡社  
知多郡美浜町大字小野浦字福島2

**八幡丸** (小野浦)

はちまんまる

建造時期：元治年間（内海の船大工吉兵衛）。千石船を表現し、全体に塗装され、金物も多い。光線が透けてみえる破風屋根。若衆の不足と青年会が解散したため、昭和32年以降、休止。現在、三吉頌徳碑横の御車部屋に保管。

**武豊町**

山車まつり情報

武豊町には、江戸時代初期から中期にかけて建造された由緒ある山車が11台あります。4月第1土・日曜日の富貴地区祭礼では、4台の山車が地区内を巡行し、それぞれの神社において神事が執り行われます。4月第2土・日曜日の長尾地区祭礼では、氏神を祀る武雄神社に6台の山車が一堂に会し、からくりや三番叟が奉納されます。また、前夜祭には全ての山車の提灯に灯りがともされ、JR武豊駅前に山車が並びます。7月第3土・日曜日の大足地区祭礼では、蛇祭と呼ばれ夜には境内で手筒花火が壮観を極め、山車の上からも蛇ノ口に見立てた花火が奉納されます。



大足  
大足地区祭礼  
豊石神社  
武豊町字明神戸60

**蛇車** (大足)

じゃぐるま

建造時期：寛政8年。彫刻「昇り龍」(脇障子。吉田信久)、「牡丹と唐獅子」(壇箱)銅幕は赤羅紗に荒波に龍、追幕は赤に鳳凰の刺繍、水引は紫に龍の織込み。



長尾  
武雄神社例祭  
武雄神社 等  
武豊町字上ヶ8

**宮本車** (上ヶ)

みやもとしゃ

建造時期：慶応3年。彫刻「太平楽人」(壇箱)、「竹に虎」(蹴込み)。いずれも初代彫常作。水引は緑で御雲に御幣。からくり人形「三番叟」(前山)、「逆立ち唐子」(上山)を搭載。



長尾  
武雄神社例祭  
武雄神社 等  
武豊町字上ヶ8

**神宮車** (市場)

じんぐうしゃ

建造時期：大正15年。彫刻「七福神」(壇箱)、「天の岩戸」(前山臺股)、「親子唐獅子」(蹴込み)(初代彫常作)。追幕は赤に三番叟、水引は緑で清流に鮎の刺繍。「巫女舞」、「三番叟」を搭載。



長尾  
武雄神社例祭  
武雄神社 等  
武豊町字上ケ8

**八幡車**(下門)  
はちまんしゃ

建造時期：不明。彫刻「八岐大蛇」(増箱)、「神武東征」(脇障子)(初代彫常)、「老松に鳩」(蹴込み。榊原冬花作)等。水引は緑に飛鷲の刺繍。からくり人形「応神天皇」(前山)、「神功皇后・武内宿禰」(上山)を搭載。



長尾  
武雄神社例祭  
武雄神社 等  
武豊町字上ケ8

**長北車**(馬場)  
ちょうほくしゃ

建造時期：文政10年。彫刻「七福神」(増箱)、「張良と黄石公」(脇障子)(初代彫常)、「蕭史」(上山懸魚)、「弄玉」(前山懸魚)、「龍」(蹴込み。早瀬長兵衛)。水引は緑で竹に雀の刺繍。



長尾  
武雄神社例祭  
武雄神社 等  
武豊町字上ケ8

**玉神車**(玉貫)  
ぎょくしんしゃ

建造時期：弘化3年。彫刻「唐獅子に牡丹」(増箱。岸本観治)、「枇杷に栗鼠」(前山懸魚)、「八岐大蛇」(前山臺股)、「八仙人」(堂山臺股)。水引は白に見返り龍、追幕は赤唐獅子の刺繍。



長尾  
武雄神社例祭  
武雄神社 等  
武豊町字上ケ8

**鳳凰車**(小迎)  
ほうおうしゃ

建造時期：文久3年。彫刻「瓢箪から駒」(増箱)、「項羽に張良」(蹴込み)。初代彫常作。水引は鳳凰の縫い漬し。からくり人形「特殊三人遣い巫女舞」(前山)、「逆立ち、面かぶり、肩車唐子」(上山)搭載。五代目玉谷庄兵衛作。



富貴  
富貴地区祭礼  
縣社  
武豊町大字富貴字森南44

**縣車**(市原)  
あがたしや

建造時期：文化12年。彫刻「力神」(増箱)、「鹿と紅葉」(脇障子)、「鶴」(前山懸魚)(二代彫常)。水引は白無地、追幕は赤羅紗に縣社の文字刺繍。



富貴  
富貴地区祭礼  
知里付神社  
武豊町大字東大高字池田34

**知里付車**(東大高)  
ちりゅうしゃ

建造時期：不明。彫刻「格狭間に獅子」(増箱)、「張良と黄石公」(脇障子)。水引は紺に鳳凰の織込み。



富貴  
富貴地区祭礼  
八幡社  
武豊町大字富貴字宮前3

**天王丸**(富貴市場)  
てんのうまる

建造時期：文久3年。彫刻「力神と牛若丸」(増箱)、「虚教仙人・琴高仙人」(脇障子)。水引は赤羅紗に金の刺繍、船袴は波に二羽鶴の刺繍。



富貴  
富貴地区祭礼  
八幡社  
武豊町大字富貴字宮前3

**本若車**(富貴)  
ほんわかしゃ

建造時期：明治元年。彫刻「牡丹と唐獅子」(増箱)、「桃源」(脇障子)(瀬川治助重光作)。水引は鳩の刺繍、追幕は唐獅子に牡丹の刺繍。からくり人形「蓮台逆立ち唐子」(上山)を搭載。